

基準 6 教育の成果

(1) 観点ごとの分析

観点 6 - 1 - : 高等専門学校として、その目的に沿った形で、課程に応じて、学生が卒業（修了）時に身に付ける学力や資質・能力、養成する人材像等について、その達成状況を把握・評価するための適切な取組が行われているか。

(観点に係る状況) 本校の評価・改善は、自己評価委員会で所掌している（後述資料 9 - 1 - 3）。本校卒業生が身に付ける学力や資質を調査するため、卒業生・企業アンケート調査を実施している。

学生の学力については、定期試験等を通じて教務委員会で把握している。成績については、年 4 回の定期試験ごとに教員会議を開催し、審議する（前述資料 5 - 3 - 1）ことになっている。卒業研究は、年度末に卒業研究発表会を開催し大勢の教員、および下級生の在席のもとで発表し、研究の水準を確認している。卒業については、教員会議で卒業認定について審議する。就職に関しては、就職対策委員会が所掌している。FD 委員会では、学習達成度アンケート調査を実施している。

(分析結果とその根拠理由) 適切である。自己評価委員会で学生の総合的資質・能力について把握している。具体的には、学年ごとの定期試験の成績・卒業認定、就職状況、FD 委員会で実施する学習達成度アンケート調査の結果、自己評価委員会で実施する卒業生・企業アンケート結果がある。これらの結果を受けて自己評価委員会で改善策を検討するシステムとなっている。これらのことにより、適切な取組を行っているとは判断する。

観点 6 - 1 - : 各学年や卒業（修了）時などにおいて学生が身に付ける学力や資質・能力について、単位取得状況、進級の状況、卒業（修了）時の状況、資格取得の状況等から、あるいは卒業研究、卒業制作などの内容・水準から判断して、教育の成果や効果が上がっているか。

(観点に係る状況) 本校における学生が身に付ける学力や資質・能力について、教育活動の成果などを項目ごとに記述する。

(a) 単位取得

本校では学年を前期と後期に区分し、それぞれの期ごとに中間試験と期末試験を実施している。これらの試験結果を通して学生の学業成績を評価し、それに基づいて単位認定を行っている。なお、単位不認定となった場合、学生便覧に掲げている単位追認措置に基づいて単位追認試験を実施し、再度学習を促し学力の向上を図っている（資料 6 - 1 - 1）。また、年度末ごとに単位不認定科目を有する学生の人数、つまり、1 年生から 4 年生までの合計を見ると過去 3 年間の不認定数は必ずしも減少傾向にはなく、教育の実績が明確に上昇したとは言えない状態が続いている（資料 6 - 1 - 2）。

(b) 進級率(原級留置者及び退学者数)

学生の学業成績不振または進路変更希望等の理由から原級留置者及び退学者は発生しており、

年度ごとの原級留置者及び退学者数を示す（資料 6 - 1 - - 3）。原級留置者及び退学者数を減少するために、学校として取り組み、学級担任と副担任は指導やアドバイス等を与えており、保護者または科目担当者とも十分に連絡を取っている。なお、原級留置者と退学者の数は、年度により変動があり、一概に減少傾向と言えない状況が続いている。

(c) 欠席時数

資料（資料 6 - 1 - - 4）は授業における出席状況から年間の欠席時間数を 1 学年から 5 学年（商船学科は 5 学年前期）までまとめた結果を示す。特に、この表から欠席者の減少傾向がみられる。

(d) 学業成績

資料 6 - 1 - - 5 は 1 学年から 5 学年（商船学科は 5 学年前期）までにおける学年末成績の 5 段階評価によるそれらの推移を示す。

(e) 資格取得

本校の教育目的に基づいて準備された、あるいはそれに準ずるような国家試験や種々の能力検定資格等の取得により、技能審査に関する単位認定を行い学生による資格取得を推進している（後述資料 7 - 1 - - 3 ~ 6 参照）。

(f) 各種表彰

各学会などからの表彰は資料 6 - 1 - - 6 に示す。また、学外・クラブ活動での表彰は資料（資料 7 - 1 - - 12）のとおりである。本校では、本校の教育指針に沿って特に優秀な成果をあげた者を、功労賞、特別功労賞を設けて（資料 6 - 1 - - 7）表彰している（資料 6 - 1 - - 8）。校内作文・表現コンクールを実施し優秀作品を書いた学生を表彰している（資料 6 - 1 - - 9）。

(g) 就職及び進学

本校教育の実績あるいは成果等は、学生の企業への就職であり、また、大学等への進学（編入学）によって評価されると認識している。資料は就職率（資料 6 - 1 - - 10）及び進学状況（資料 6 - 1 - - 11）を示すが、いずれも各年度とも高い割合を示し、特に進学率と最近の数カ年の就職率は、ほぼ 100% を達成している。

(h) 卒業研究

細かい現状分析に基づいて論理的思考能力と創造力を発揮して解決に至る実践的な研究を行なうために、基本的には少人数（6 名以下）で実施している（前述資料 5 - 2 - - 1）。優秀な卒業研究に対しては各学会から表彰を受けている（資料 6 - 1 - - 6）。

単位追認の制度

の未修得科目数及び未修得単位数を、それぞれ4及び7以内に減少させることができなかつたとき、ただし、商船学科の第5学年については、6月末日とする。

四 第5学年の後期末試験終了時に、第37条第1項第1号を満たすことができなかつたとき、ただし、商船学科の学生については、前期末試験終了時とする。

五 特別課程終了時に、第37条第1項第2号を満たすことができなかつたとき。

(留年の決定)

第42条 前条各号に定める留年は、成績会議において決定する。

(再履修)

第43条 留年した学生は、現学年のすべての授業科目を、再び履修しなければならない。

第7章 単位追認措置

(単位追認試験の受験資格)

第44条 単位追認試験は、前学年の未修得科目に限り、受験できる。

② 単位追認試験を受験しようとする学生は、教育細則(第33条)に定める手続をしなければならない。

(試験の実施時期及び回数)

第45条 科目担任は、試験(評価も含む。)を、11月末日までに終了しなければならない。ただし、商船学科の第5学年にあっては、6月末日とする。

② 試験は、未修得科目の教育内容を、原則として、4分割して行う。ただし、商船学科の第5学年における試験は、原則として、2分割して行う。

(特別課程における追認試験等)

第46条 第5学年の期末試験終了時に、第37条第1項第1号を満たす学生は、第1学年から第5学年までのすべての未修得科目について、改めて、単位追認試験を受験することができる。

② 試験(評価も含む。)は、教育細則に定める手続を終了した学生について、席上課程終了認定会議又は卒業認定会議までに終了しなければならない。

③ 試験の回数及び内容などは科目担任が決定する。

④ 筆記試験に代えて、レポートその他の方法で実施することができる。

(単位の追加的認定と学年終了)

第47条 科目担任は、前2条に定める試験の成績が良好であると判断したとき、単位を認定する。

② 認定された授業科目の成績評価は、可とする。

③ 認定の結果、学年のすべての履修科目を修得するに至ったときには、第40条にかか

わらず、校長は、学年の修了を認定する。

(不認定科目の累積)

第48条 第45条による試験で不認定となった授業科目は、特別課程まで解消されず、第37条及び第38条の未修得科目数及び未修得単位数に数えられる。ただし、留年した場合は、この限りでない。

第8章 休学、復学、退学及び転学科

(休学)

第49条 休学しようとする学生は、教育細則(第42条)の定めるところにより、休学願を提出しなければならない。

② 休学期間を延長しようとする学生もまた、同様とする。

(復学)

第50条 休学した学生が復学する場合には、教育細則(第43条)の定めるところにより、復学願を提出しなければならない。

② 復学の時期は、年度始めを原則とする。

③ 学年の途中において、外国に留学するため休学許可を受けた学生は、休学期の学年に復学する。

④ 前項の場合、休学前の就学期間と復学後の就学期間とを合算して、1年の就学期間に相当するときは、その学年を履修したものと認める。

(退学)

第51条 退学しようとする学生は、教育細則(第44条)の定めるところにより、退学願を提出しなければならない。

(懲戒による退学)

第52条 懲戒による退学は、学生指導委員会及び教員会議の審議を経なければならない。

(転学科)

第52条の2 転学科しようとする学生は、教育細則(第44条の2)の定めるところにより、転学科願を提出しなければならない。

② 校長は、次の各号に基づいて、転学科許可の決定をする。

一 入学後の学業成績及び生活態度が良好であること。

二 受入れ人数は、若干名とする。ただし、受け入れるクラスの状況による。

三 受入れ学科の面接試験の結果に基づき、教務委員会及び教員会議の審議

③ 再転学科は認めない。

(商船学科における転コース)

3

(出典 学生便覧 46・47頁)

平成14, 15, 16年度1年生から5年生まで不認定科目所有者数

(省略)

(出典 学生課)

資料6 - 1 - - 3

平成14, 15, 16年度原級留置者及び退学者数, 進路変更者数

(省略)

(出典 学生課)

資料6 - 1 - - 4

平成14, 15, 16年度の欠席時数

(省略)

(出典 学生課)

資料 6 - 1 - - 5

平成 14,15,16 年度の 1 学年から 5 学年（商船学科は 5 学年前期まで）までにおける
学年末成績の 5 段階評価度数

(省略)

(出典 学生課)

資料 6 - 1 - - 6

学会等の各種表彰一覧（平成 15・16 年度）

【平成 15 年度】

機 関 名	所 属	人数
(社)全日本船舶職員協会	商船学科	2
(財)日本船員奨学会	商船学科	2
(社)日本航海学会	商船学科	1
(社)日本マリンエンジニアリング学会	商船学科	1
電子情報通信学会中国支部	電子制御工学科	1
	流通情報工学科	1
計		8

【平成 16 年度】

機 関 名	所 属	人数
(社)全日本船舶職員協会	商船学科	2
(財)日本船員奨学会	商船学科	2
(社)日本航海学会	商船学科	1
(社)日本マリンエンジニアリング学会	電子制御工学科	1
電気・情報関連学会中国支部	電子制御工学科	1
	流通情報工学科	1
計		8

(出典 学生課)

功労賞，特別功労賞の規程

広島商船高等専門学校学生表彰規程（抜粋）

（趣旨）

第1条 この規程は，広島商船高等専門学校学則（昭和 43 年 12 月 23 日制定）第 36 条の規定に基づき，本校学生の表彰に関し必要な事項を定めるものとする。

（表彰の種類及び対象者）

第2条 表彰の種類は，功労賞及び特別功労賞とする。

2 功労賞は，次の各号の一に該当する学生に授与する。

- 一 学生会活動において，その功績が著しく，かつ，他の学生の模範となつた学生
- 二 寮生会活動において，その功績が著しく，かつ，他の学生の模範となつた学生
- 三 課外活動において，その功績が著しく，かつ，他の学生の模範となつた学生
- 四 前各号に定めるものの他，校長が，功績が著しく，かつ，他の学生の模範となつたと認める学生

3 特別功労賞は，前項各号に該当する行為で，その功績が特に顕著であつた学生に授与する。

（出典 広島商船高等専門学校程）

平成 15，16 年度功労賞特別功労賞の受賞者数

	平成 15 年度	平成 16 年度
功 労 賞	6 名 1 団体	8 名
特別功労賞	1 名	5 名

（出典 学生課）

平成 15，16 年度図書コンクールの受賞者数

区分	最優秀賞	優秀賞	佳作
平成 15 年度	1 人	7 人	15 人
平成 16 年度	1 人	5 人	19 人

（出典 庶務課図書係）

平成 14 年度以降の求人状況及び就職状況

就職 Employment 平成14年度以降の求人状況及び就職状況 Jobs Offered & Employment Situation							
学科 Department	区分 Division	年度 Year	卒業生数 Graduates	就職希望者数 Applicants(A)	求人数 Jobs offered(B)	倍率 B/A	就職決定者数 Employed
商 船 学 科 M		平成14年度	30	24	281	11.7	22
		15年度	29	22	205	9.3	22
		16年度	32	28	248	8.9	27
電子制御工学科 C		平成14年度	36	28	161	5.8	28
		15年度	35	27	199	7.4	27
		16年度	35	28	239	8.5	28
流通情報工学科 D		平成14年度	27	20	134	6.7	20
		15年度	31	24	176	7.3	23
		16年度	41	33	193	5.8	32
合 計 Total		平成14年度	93	70	576	8.0	70
		15年度	95	73	580	8.0	72
		16年度	108	89	680	7.6	87

(注) 求人数は、本校を指定した求人数を記入したもので、他校との共通求人含まれていない。
NOTE : M : Maritime Technology Department. C : Electronic Control Engineering Department.
D : Distribution and Information Department.

(出典 学校要覧 2005 27 頁)

大学 3 年次編入学の状況

大学 3 年次編入学の状況				大学 3 年次編入学の状況			
大学名 Universities	編入学年度 (平成)			大学名 Universities	編入学年度 (平成)		
	15年	16年	17年		15年	16年	17年
東京海洋大学 Marine science and Technology	3		1	広島修道大学 Hiroshima Shudo Univ.			1
東京水産大学 Tokyo Univ.of Fisheries	1			広島市立大学 Hiroshima City Univ.	2		
長岡技術科学大学 Nagaoka Univ.of Technology			1	立命館大学 Ritsumeikan Univ.	2	1	1
信州大学 Shinshu Univ.	1			日本大学 Nihon Univ.			
豊橋技術科学大学 Toyobashi Univ.of Technology	2	5	6	筑波大学 Tsukuba Univ.			1
神戸大学 Kobe Univ.	3	4	4	関東学院大学 Kanto Gakuin Univ.			1
電気通信大学 Univ. of Electro-Communications			1	合計 Total	14	12	15

(出典 学校要覧 2005 27 頁)

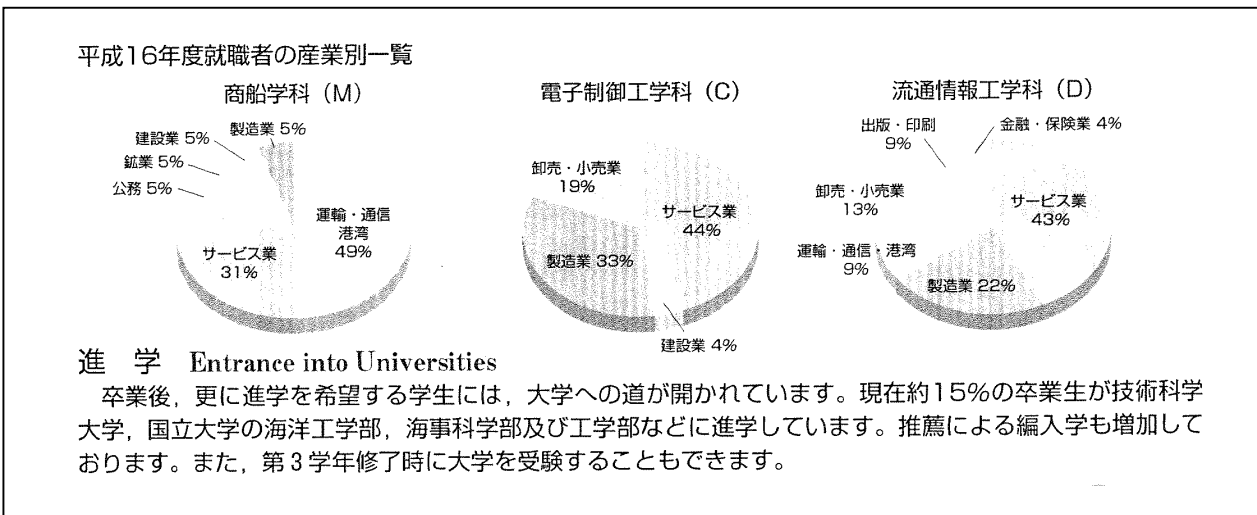
(分析結果とその根拠理由) 適切である。各学年や卒業時に学生が身につけた学力や資質・能力について、単位取得、進級率、欠席時数、資格取得、卒業研究等の観点から検討した結果、いずれの観点を取っても十分に平均的な水準にあると考えている。これらのことから、教育の成果が上がっていると判断する。

観点 6 - 1 - : 教育の目的において意図している養成しようとする人材像等について、就職や進学といった卒業（修了）後の進路の状況等の実績や成果から判断して、教育の成果や効果が上がっているか。

（観点に係る状況） 就職率，進学状況は，資料 6 - 1 - - 10・11，就職先は資料 6 - 1 - - 1・2 に示されているが，いずれの学科でも目的とする職種へ大部分就職し，大学へ進学している。また，就職・進学率はいずれも毎年ほぼ100%である。

資料 6 - 1 - - 1

平成 16 年度就職者の産業別一覧



（出典 学校要覧 2005 27 頁）

就職状況一覧
就職等状況一覧表

商船学科		電子制御工学科		流通情報工学科	
進学先	就職先	進学先	就職先	進学先	就職先
	内海曳船(株)		コマツ中国(株)		(株)金陽社
東京海洋大学			三菱電機ビルテクノサービス		ソフトバンクBB(株)
	サンカイトテクノス(株)		前川製作所		双葉運輸(株)
	四国オレンジフェリー		古野電気		(株)アンフィニ広島
	山友汽船(株)	豊橋技術科学大学		豊橋技術科学大学	
	共和産商(株)		新日本石油化学 川崎事業所		(株)安川ロジステック
	マリンハウス シーファー		(株)イクス	豊橋技術科学大学	
	宇徳運輸(株)		技研電子(株)		(株)システムサービス
	平田汽船(株)		広島エルピーダメモリ(株)		ノグチ(株)
	-		広島エルピーダメモリ(株)		有限会社シスコム
	オーシャン東九フェリー		総合警備保障		(株)外林
	(株)上組		東レ		(株)体育社
	内海曳船(株)		広島エルピーダメモリ(株)		(株)NOVA
	船田産業(株)		三協化成		広島市信用組合
	(株)ユニエックス	豊橋技術科学大学			日東物流(株)
神戸大学			(株)ベルテックス		日本事務器(株)
			三興コントロール(株)	神戸大学	
		広島商船高等専門学校		広島修道大学	
	山九(株)		日立ビルシステム		サンライズコーポレーション(株)
	タイホー工業(株)		ネクストウェア(株)		広島エルピーダメモリ(株)
	福山ポートサービス(株)	広島商船高等専門学校			(株)室尾冷凍運輸
	ケイラインエンジニアリング(株)		技研電子(株)		ケイピン(株)
	日本油化工業(株)		郵船商事(株)		(株)コメリ中四国本部
	三興海運(株)		呉信用金庫	国立台湾師範大学	
長岡技術科学大学			(株)日立空調システム	神戸大学	
	日本オーテス・エレベータ(株)		(株)半導体エネルギー研究所		広島エルピーダメモリ(株)
	ファーストマリンサービス(株)		広島エルピーダメモリ(株)		日立物流ソフトウェア(株)
	郵船商事(株)		ナカシマプロペラ(株)		竹本機械(株)
	有限会社平野汽船	豊橋技術科学大学			技研電子(株)
	全日本海員組合		マツダ(株)		翼システム(株)
	日本コンテナ・ターミナル(株)		(株)塩見		リコーテクノシステムズ(株)(中国支社)
	(株)シンキ	-			(株)VSN
神戸大学			エヌ・ティ・ティシステム開発(株)		西武運輸(株)
	(株)ロイヤルウイング		日信電子サービス(株)	立命館大学	
		豊橋技術科学大学			誠和工業(株)
					(株)テレシステム
				電気通信大学	
					-
					サンゲン(株)
					(株)室尾冷凍運輸
					(株)デボウ

(出典 学生課)

(分析結果とその根拠理由) 優れている。1990年代からスタートしたバブル崩壊後の就職の厳しい時代が続いた十数年間であっても、本校の就職率は極めて高い水準を維持してきた。このような実績は、貴重な経験となって、今後の就職に関するレベルアップを図る重要な要素となると考えている。実践的技術者として社会に送り出すという高専の目的を中心に学生を指導してきたことから、本校は学生の大学編入については充分に対応して来なかった。しかし、豊橋、長岡技術科学大学はじめ、東京海洋大学や神戸大学の商船系の学部を中心に進学させてきた。今後は、本校に専攻科の開講という進学環境が変化してきたことに伴い、学生の要望を取り入れて進学に対処できる体制を整備して、進学率の上昇も図りたい。以上のことから、本校の教育目的に沿って、充分な教育成果があがっていると考える。

観点 6 - 1 - : 学生が行う学習達成度評価等から判断して、学校の意図する教育の成果や効果が上がっているか。

(観点に係る状況) 平成12年に全校で学生による統一的な授業評価を実施し、平成14年度から非公式ながらFD委員会を設置して、FDに関する試行や教員についての授業評価等を実施した。平成13年度に外部評価委員会を開催したが、この委員会から教職員は厳しい評価と新しい対策案を頂いた。平成15年度以降もFD委員会が中心になり教員によるピアレビューを実施した。平成17年度からFD委員会で「学習達成度アンケート」を実施することになり、直ちに16年度分の「学習達成度アンケート」を実施した(資料6-1--1)。その結果は、FD委員会で分析し各教員に通知し(資料6-1--2)、自己評価委員会で評価し改善策を検討している(後述資料9-1--4)。アンケート結果によると、ほとんどの項目で5段階評価の3以上であった。

資料 6 - 1 - - 1

学習達成度アンケート

学習達成度ならびに教育支援アンケート

学科名: _____ 学年: _____

- (9) 自主学習する上でどのような支援があれば良いと思いますか。 ()
- (10) カリキュラム上不足していると思う内容、新しく授業でやってもらいたいことがありましたらお答えください。 ()
1. あなたは現在までに次の項目に関して、自分自身でどの程度身についたと思いますか、5段階評価でお答えください。
 (5:よく身についた、 4:身についた、 3:普通、 2:あまり身につけていない、 1:まったく身につけていない)
- (1) 学習能力 () (A)論理的思考能力 () (B)問題発見・分析 ()
 (C)理数系分野の基礎学力 () (D)人文系分野の基礎知識 ()
 (E)英語会話・読解力 () (F)専門知識 () (G)専門的技術力 ()
- (2) コミュニケーション能力 () (H)表現力 () (I)理解力 ()
- (3) プレゼンテーション能力 () (J)プレゼンテーション能力 ()
- (4) 人間的成長など、その他 () (K)リーダーシップ () (L)自己管理能力 () (M)国際感覚 ()
 (N)広い視野 () (O)独創性 () (P)柔軟な発想 ()
 (Q)倫理的行動 () (R)責任感 () (S)環境意識 ()
 (T)積極性 () (U)協調性 () (V)忍耐強さ ()
3. 本校についての印象をお伺いします。5段階評価(5が最高、1が最低)でお答えください。
 (11) 教員が授業を大切にしていると思いますか。 ()
 (12) 教員の授業以外であなたへの対応を良いと思いますか。 ()
 (13) あなたは授業を大切にしていますか。 ()
 (14) あなたのクラスの授業中の雰囲気は良いと思いますか。 ()
 (15) あなたは、自分で能力的にあるいは人間的に成長していると感じますか。()
 (16) 学校へ来るのは楽しいですか。 ()
 (17) 広島商船高専生としてのプライドを持っていますか。 ()
 (18) 本校に入学して良かったと思いますか。 ()
2. あなた自身の学習意欲についてお伺いします。
 (5) 就職・進学等についての目標を持っていますか。
 はっきり決まっている 漠然と決まっている 方向・分野ぐらい決まっている
 決まっていない 考えたことは無い
4. 現在の学校の活動についてお伺いします。
 (19) 身なり指導・交通指導をどう思いますか。 ()
 (20) 専攻科をどう思いますか。専攻科進学を考えてお答えください。 ()
 (21) 習熟度別クラスをどう思いますか。 ()
- (6) あなたが必要とする能力は何でしょうか。上記1の項目(A)~(V)の中から必要な順に3つまで選んでください。
 (例: (K) (H) (P))
- (7) 意欲的に取り組んでいる科目はなんですか。取り組んでいる順に3つまでお答えください。
- (8) 試験期間あるいは長期休暇中ではない1週間の、授業時間以外の勉強時間の合計はどれくらいですか。およその時間数をお答えください。
5. 何かコメントがありましたら、自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました。

(出典 FD委員会資料)

学習達成度アンケート分析結果

平成 17 年 7 月 19 日

学習達成度および教育支援アンケートの概要

目的

定期的にアンケートデータ収集して学習達成度を測定して、教育改善を行う。
あわせて、学生の学習意欲、家庭における学習時間、および、その他教育支援の調査を行い、検討する。

集計概要

データ数 回収率 94%(第 2 学年以上)

1. データの集計結果は別紙 に示す
2. 学生の認識
 - a. 身についた能力について
低い評価は (E) 英語会話・読解力、(K) リーダーシップ、(J) プレゼンテーション能力

高い評価は (L) 自己管理能力、(V) 忍耐強さ、(F) 専門知識
(V) 忍耐強さは、学年進行と共に高い評価となる。
 - b. 必要とする能力
(E) 英語会話・読解が身につけたい能力と考えている。
引き続き (G) 専門的技術力、(T) 積極性 の順となっている。
3. 家庭における学習時間
平常の授業以外の学習時間は約 2.6 時間 (156 分) である。未記入をゼロとした場合に約 2.4 時間となっている。
4. 授業に関係することで、若干低い評価が
授業の雰囲気が良くない
本校の学生としてプライドがない
が気にかかり、対策を考える必要がある。
5. その他
提案として、学生カードの導入して「 学生が目標設定をする、 学生の活動記録、
学習・生活指導に役立てる、 自主性の醸成」を目標とする。そのためには、顕著な活動
成果をした学生に対する顕彰も合わせて考える。

(出典 平成 17 年 7 月 19 日 教員会議資料)

(分析結果とその根拠理由) 一部問題があるが現在では適切である。習熟度別クラス編成等は現在 4 年目に入り、今まで有効に機能してきた。学生による教育評価については、担当授業科目教員が単発的に実施してきた経過である。

今年、学生からの学習達成度評価が可能な組織を整備して実施した。学生による授業評価やそれに係る一連の評価が、本校全体で継続的にアンケート等実施されるような体制を整え、今後組織的に運用出来るように整備している。今回のアンケート結果からは、妥当な成果があがっているといえるが、この体制はスタートして間もないこともあり、今後長期的にデータを取っていく必要がある。今年度、学生の学習達成度評価の測定、検討、改善活動のサイクルをはじめたという点が不十分であると考ええる。

観点 6 - 1 - : 卒業（修了）生や進路先などの関係者から、卒業（修了）生が在学時に身に付けた学力や資質・能力等に関する意見を聴取するなどの取組を実施しているか。また、その結果から判断して、教育の成果や効果が上がっているか。

（観点に係る状況）平成15年に専攻科設置申請のために、全国各地の企業205社（うち広島県内50社）を対象にアンケート調査を実施した。その結果88社（回収率43%）（広島県内27社54%）から回答を得たが、本校の専攻科修了生をぜひ採用したい、今後検討したいと回答した会社が約半数の41社であった。この結果は、卒業生や進路先等からの間接的的回答であり、本校卒業生が在学時に学力や資質・能力を身に付けた事を示すものかどうか明確ではないが、本校の卒業生は進路先の関係者からも評価されていると判断できる。

平成17年度、自己評価委員会で継続的な実態調査の必要性が認識されると同時に、企業および卒業生に対するアンケートの実施が決定された（資料 6 - 1 - - 1・2）。回収されたアンケートは自己評価委員会で分析し（資料 6 - 1 - - 3・4）、教育の成果を検討している（後述資料 9 - 1 - - 4）。

資料 6 - 1 - - 1

卒業生アンケート

卒業生アンケート（卒業時）

本年アンケートは、卒業生の皆さまが過ごされた学生生活の内容について意見を伺い、教育の充実に役立てるためのものです。客観的な立場でお答えください。記名は、強制ではありませんが差し支えなければご記入ください。なお、本アンケート内容を集計した内容について公表することがありますが、氏名を公表することはありません。

商船学科 電子制御工学科 流通情報工学科 年卒業
氏名 _____

回答は5段階評価（5：とてもそう思う、4：そう思う、3：特に何も思わない、2：そう思わない、1：まったくそう思わない）でお答えください。

- 1. 本校に在学してよかったと思えますか。 ()
- 2. あなたは、在学したことにより能力的・人格的に成長しましたか。 ()
- 3. 広島商船高専卒業生としてプライドを持っていますか。 ()
- 4. 在学したことによって、次の能力は身につきましたか。
 - a) 学習能力
 - 論理的思考能力 () 問題発見・解決 () 基礎学力 ()
 - 専門知識 () 専門的技術力 () 英語会話能力 ()
 - 英語読解力 () 一般的教養 ()
 - b) コミュニケーション能力
 - 語学力 () 表現力 () 理解力 ()
 - c) プレゼンテーション能力
 - プレゼンテーション能力 ()
 - d) 人格的成長など、その他
 - リーダーシップ () 自己管理能力 () 国際性 ()
 - 広い視野（教養）() 独創性 () 柔軟性 ()
 - 倫理的行動能力 () 責任感 () 環境意識 ()
 - 積極性 () 協調性 () 忍耐強さ ()

次の問いについてご記入ください。

5. 授業についてお伺いします。在学中に受けた授業で良かったと思われる科目名を4つまでご記入ください。また、その理由についてもお書きください。【科目表参照】

科目名	理由

6. 授業についてお伺いします。在学中に受けた授業で改善するべきだと思う科目名を4つまでご記入ください。また、その理由についてもお書きください。【科目表参照】

科目名	理由

7. 全体的にみて学力向上のために必要と思われることをお書き下さい。

8. 授業以外についてお伺いします。学生生活で良かった点はどのようなことでしたか。

9. 授業または課外活動などで、改善する必要があるところはどのようなことでしょうか。【授業について】

【課外活動について】

10. その他、何かコメントがありましたらご記入ください。

アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

（出典 平成 17 年 6 月 7 日 自己評価委員会資料）

企業アンケート

貴社名: _____

業種 下記一覧からお選び下さい

製造業	(1)食料品 (2)繊維製品 (3)パルプ・紙 (4)化学 (5)医薬品 (6)石油・石炭 (7)ゴム製品 (8)ガラス・土石製品 (9)鉄鋼 (10)非鉄金属 (11)金属製品 (12)機械 (13)電気機器 (14)輸送用機器 (15)精密機器 (16)その他製品
その他	(17)水産・農林業 (18)鉱業 (19)建設業 (20)電気・ガス業 (21)陸運業 (22)海運業 (23)空運業 (24)倉庫・運輸関連業 (25)通信業 (26)娯楽業 (27)小売業 (28)銀行業 (29)証券・商品先物取引業 (30)保険業 (31)その他金融業 (32)サービス業 (33)情報関連業 (34)その他
官公庁等	(35)官公庁 (36)公園 (37)公社 (38)協会 (39)農協等 (40)病院・医療 (41)警察・消防 (42)その他団体

次の卒業又は修了した者に対して期待する能力は、どの程度かお答え下さい
 5. 重要である 4. どちらかといえば重要である 3. どちらともいえない
 2. どちらかといえばそうでない 1. そうでない

	高 専	高等専攻科	大 学	大学院
即戦力	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()
礼儀正しさ	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()
素直さ	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()
創造性	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()
忍耐力	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()
リーダーシップ	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()
協調性	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()
積極性	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()
責任感	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()
環境意識	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()
自己管理能力	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()
基礎学力	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()
専門学力	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()
英語力	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()	回答 () () () ()

【コメント】

即戦力 () 礼儀正しさ () 素直さ () 創造性 ()
 忍耐力 () リーダーシップ () 協調性 () 積極性 ()
 責任感 () 環境意識 () 広い視野 () 柔軟な発想 ()
 【コメント】

本校の卒業生は入社時に以下の能力を身につけていますか。 回答 ()
 5. 身につけている 4. どちらかといえば身につけている 3. 普通
 2. どちらかといえばそうでない 1. そうでない

- | | | | |
|--------------|--------|---------------|--------|
| • 理数系の学力 | 回答 () | • 一般の教養 | 回答 () |
| • 人文社会系分野の学力 | 回答 () | • コミュニケーション能力 | 回答 () |
| • 英語会話能力 | 回答 () | • プレゼンテーション能力 | 回答 () |
| • 英文読解力 | 回答 () | • 論理的思考能力 | 回答 () |
| • 専門の基礎的知識 | 回答 () | • 問題発見・解決能力 | 回答 () |
| • 専門の応用的知識 | 回答 () | • 倫理的行動能力 | 回答 () |
| • 専門の技術力 | 回答 () | • 自己管理能力 | 回答 () |
| • 専門の周辺分野の知識 | 回答 () | | |

【コメント】

本校は、教育理念として「人間性豊かで、国際的な視野を持ち、技術的創造力のある人材の育成」を謳っています。

本校卒業生の人間性は豊かでしょうか。 回答 ()
 5. 十分である 4. どちらかといえば十分である 3. 普通
 2. どちらかといえば不足している 1. 不足している

貴社の考える「人間性」とはなんですか。説明しにくい場合、思いつくキーワードでご記入下さい。

本校卒業生は国際的な視野を持っているでしょうか。 回答 ()
 5. 十分である 4. どちらかといえば十分である 3. 普通
 2. どちらかといえば不足している 1. 不足している

平均的な仕事に対する評価（勤務成績）はいかがですか。
 5. 非常に良い 4. 良い 3. 普通 2. 良くない 1. 非常に良くない

大 学 大学院 高 専 高等専攻科
 回答 () () () ()

【コメント】

貴社における業務で英語は必要でしょうか。 回答 ()
 5. 必要である 4. どちらかといえば必要である 3. 普通程度
 2. どちらかといえば必要ない 1. 必要でない

貴社に必要な専門性はどのようなものですか。

本学の認知度はどうですか。 回答 ()
 5. 知られている 4. どちらかといえば知られている 3. 普通程度
 2. どちらかといえばそうでない 1. そうでない

過去5年間で、本学からの何人ぐらい採用しましたか。 回答 ()
 1. 0人 2. 1~2人 3. 3~5人 4. 5~10人 5. それ以上

採用実績がある場合には以下にもお答え下さい。

本校卒業生の、平均的な仕事に対する評価（勤務成績）はいかがですか。 回答 ()
 5. 非常に良い 4. 良い 3. 普通 2. 良くない 1. 非常に良くない

本学の卒業生は入社時に以下の能力を身につけていますか。 回答 ()
 5. 身につけている 4. どちらかといえば身につけている 3. 普通
 2. どちらかといえばそうでない 1. そうでない

貴社の考える「国際的な視野」とはなんですか。説明しにくい場合、思いつくキーワードでご記入下さい。

本校卒業生の技術的創造力はいかがですか。 回答 ()
 5. 十分である 4. どちらかといえば十分である 3. 普通
 2. どちらかといえば不足している 1. 不足している

貴社の考える「技術的創造力」とはなんですか。説明しにくい場合、思いつくキーワードでご記入下さい。

全体的に見て本校の理念は達成されているでしょうか。 回答 ()
 5. 十分である 4. どちらかといえば十分である 3. 普通
 2. どちらかといえば不足している 1. 不足している

【自由にコメントをお書き下さい。】

以上、ご協力誠に有難うございました。

企業アンケート分析データ（抜粋）

本校卒業生の企業による達成度評価

	本校
即戦力	3.23
礼儀正しさ	4.04
素直さ	4.08
創造性	3.72
忍耐力	3.92
リーダーシップ	3.24
協調性	4.08
積極性	3.72
責任感	3.92
環境意識	3.64
自己管理能力	3.62
基礎学力	3.43
専門学力	3.58
英語力	2.77

本校の教育理念についての評価

人間性豊か	3.62
国際的な視野	3.96
技術的創造力	3.26
全体的に見て	3.65

（出典 自己評価委員会資料）

卒業生アンケート分析データ（抜粋）

問 1 から 4 までの平均

		卒業時	1年後	1年後-卒業時
1		3.75	3.91	0.16
2		4.08	3.73	-0.35
3		3.33	3.18	-0.15
4	a)	3.18	3.20	0.02
		3.00	3.00	0.00
		3.09	3.11	0.02
		3.73	3.90	0.17
		3.55	3.50	-0.05
		2.55	1.70	-0.85
		2.36	2.10	-0.26
		2.81	3.00	0.19
	b)	2.72	2.90	0.18
		3.00	2.90	-0.10
		3.36	3.10	-0.26
	c)	3.18	3.30	0.12
	d)	3.18	3.30	0.12
		3.72	3.60	-0.12
		2.55	2.40	-0.15
		3.18	3.10	-0.08
		3.72	3.20	-0.52
		3.27	3.10	-0.17
		3.64	3.10	-0.54
		3.91	3.70	-0.21
3.64		3.40	-0.24	
3.36		3.10	-0.26	
3.55		3.60	0.05	
	4.64	3.60	-1.04	

1 年後に評価が変化した（下がった）もの

- a 6 英会話 (-0.85) d 7 倫理的行動 (-0.54)
- d 5 独創性 (-0.52) d 1 2 忍耐強さ (-1.04)

（出典 自己評価委員会資料）

（分析結果とその根拠理由） 一部問題であるが現在は適切である。従来、学校の取組として企業アンケートを明確に認識して実施した実績はない。今回、本校の卒業生に関するアンケートを実施して、そのデータ解析結果から、比較的良好な結果を得ることができた。このような点、就職率及び進学率等のレベルが高位に経過していることから、本校教育の成果や効果が上がっていると判断している。今後、継続的に自己評価委員会でアンケートを実施して、本校の卒業生の持つ学力、資質、能力を評価することになった。

(2) 優れた点及び改善を要する点

(優れた点) 今回、企業に対する本校卒業生のアンケート結果から良好な結果を得ることが出来た。本校における教育の実績や効果を上げる取組が優れており、その結果として本校の過去5年間の就職率及び進学率から高い水準が維持されていると判断している。

(改善を要する点) 学生による授業評価結果や学習達成度評価等から判断して、学校の意図する教育効果の向上は、最近の学生による授業評価アンケートの実施結果から明確になった。それらの結果に基づいた情報などを教員にフィードバックして改善に役立てている。しかし、これら一連のシステムは従来組織的でない部分もあったため、その機能強化をはかり評価体制を整備した。今回、改めて卒業生や進路先等の関係者からアンケートを実施した。今後、自己評価委員会による本校の教育効果を検討する判断材料とするため、企業や卒業生に対するアンケートや聞き取り調査等を組織的に運用できるような体制とその効率的運用ができるように改善を必要とする。

(3) 基準6の自己評価の概要

本校の教育成果は、就職率及び進学率の高い水準に反映されている。従来から学生の就職そのものに対しては、強力に対応してきた。ここ十数年にわたる不況の時代にある中でも、十分に就職に対応してきた。今回卒業生や学生の就職先へのアンケート調査を実施し、結果の分析等を実施する体制が整備された。今回得られた結果は、比較的有益であり、かつ良好な結果が得られたが、今後はさらにアンケートの質問事項等の精選を行い、より良い結果を得られるように対処して行きたい。